

【教育長】

通告順	4	質問 議員	長野議員
質問 項目	学力日本一の村から何を学ぶか		
質問 内容	<p>沼田学園では、一貫・連携教育を推進し、「沼田っ子アクションプラン」を掲げ、沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現に向けて尽力されている。</p> <p>しかし、常に進取の発想を持ち、「学力の日本一を目指す」ことが必要ではないか。沼田学園の研修では、先進地を訪れたり、学力日本一の秋田県東成瀬村の鶴飼孝元教育長を招聘し、研鑽に努めたと聞いている。</p> <p>東成瀬村は、人口2,500人、山間部にあり、コンビニは一軒、塾もないが、秋田県で一番を維持している良いお手本である。今こそ教育委員会、学校管理職のリーダーシップが必要だ。「あの島へ行くのだ」と旗を立ててみんなでそこへ目指す時ではないか。何をもとに旗を立てるのか。東成瀬村では、管理職が「子どもたちにとって必ず役に立つはずだ」という信念でやっている。良い点は取り入れ徹底的にやって頂きたい。結果が出ることにより、移住・定住にもつながる。</p> <p>町長のまちづくりを受けて、教育長は東成瀬村の教育から何を学んでどう進めようとしているのか、現状と課題は何か。</p>		

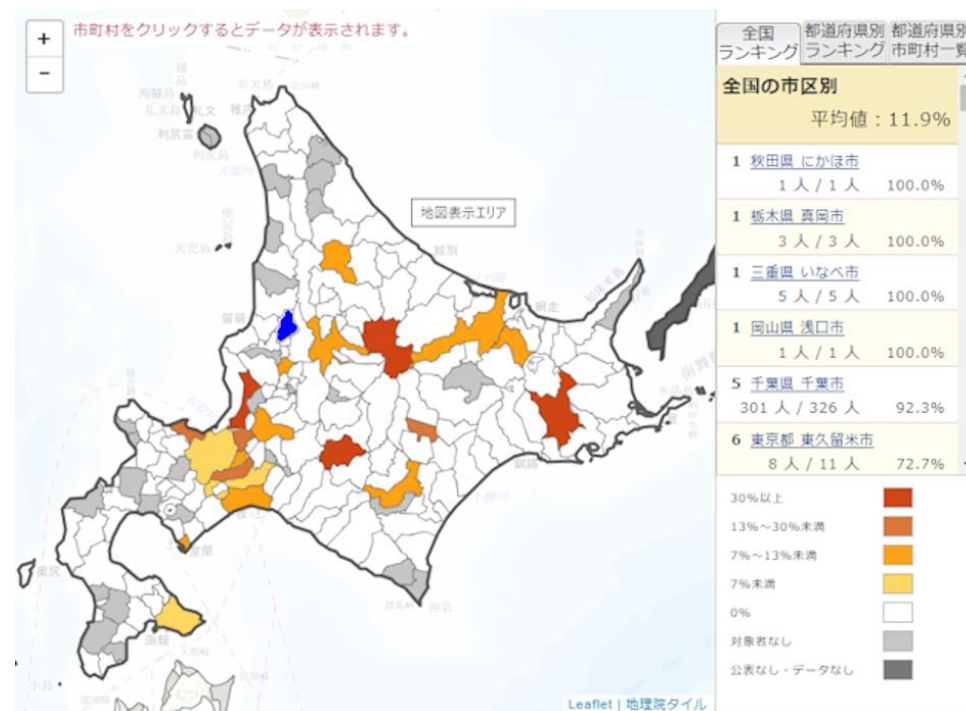
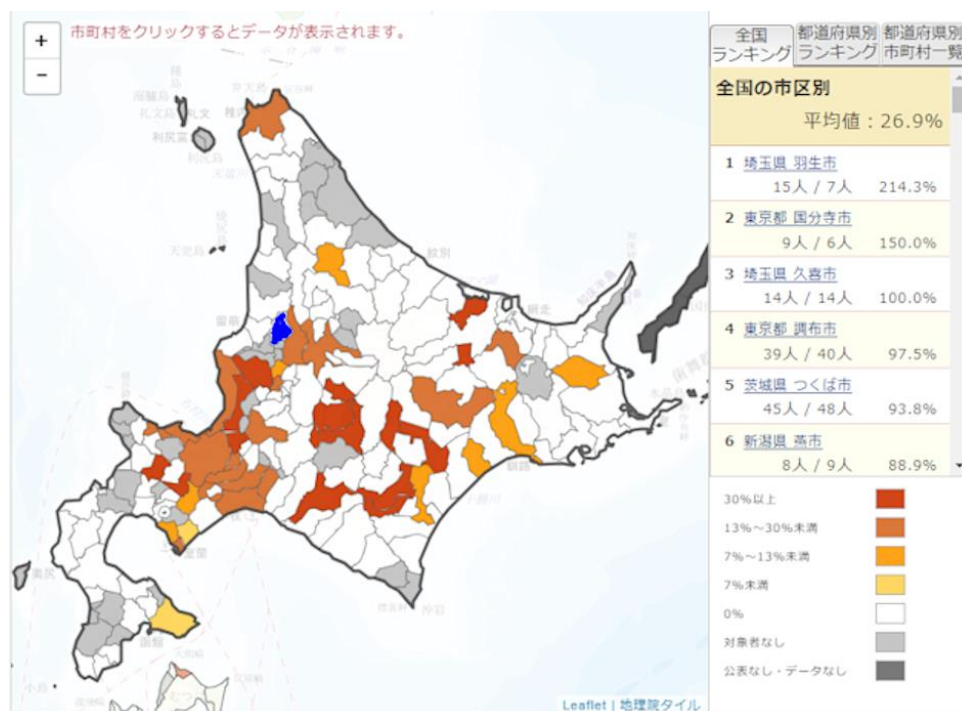
【町長】

<p>通告順</p>	<p>5</p>	<p>質問 議員</p>	<p>篠原議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>男性職員の育休取得を進めるためには</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>昨年3月の定例会でジェンダー平等問題を取り上げた際に指摘したとおり、日本はこの問題において後進国である状況は今もあまり変わっていない。</p> <p>取り組み状況を示す一つの指標として、今回は男性職員の育児休業取得状況について取り上げたい。先日、国家公務員の男性育休取得率が初めて7割を超えたとの報道があった。内閣府が公表している調査資料によれば、道内の自治体においても明らかに取得率が上昇している状況が見られる(資料1)。</p> <p>そのような中、沼田町においては、依然としてゼロの状況が続いている。令和3年の法改正で使用者側に雇用環境の整備や所定事項の周知と意向確認が義務づけられたが、沼田町ではどのように取り組んできたのか。</p> <p>男性に限らず女性においても、長期の休暇を取得する前提として有給の消化など解決すべき課題が残っていることと推察する。働きやすい環境整備を進め、男性職員も安心して育休が取得できる環境を整えば、結果としてジェンダー平等の取り組みも進むのではないかと思うが、町長の考えを聞く。</p>		

北海道における男性公務員の育児休業取得率

令和3年(2021) 全国平均 26.9%

令和1年(2019) 全国平均 11.9%



(青が沼田町で取得率はいずれの年も0%)

内閣府 市区町村女性参画状況「見える化マップ」より

【町長】

通告順	6	質問 議員	篠原議員
質問 項目	沼田弾薬支処の機能強化の内容は		
質問 内容	<p>9月18日付の北海道新聞によると、防衛省が来年度から他国領域の基地を攻撃する反撃能力を持つ長射程ミサイルなどの保管先を道内6カ所の分屯地で強化する計画を進めており、沼田町もそのひとつに該当することが明らかになった。</p> <p>これまでの間に、防衛省からこのような基地機能の強化に関わって沼田町には打診があったのか。もし国から何も動きがなかったのであれば、町は国に対して計画の内容を確認したのか。</p>		

資料1 自衛隊施設強靱化工事のイメージ

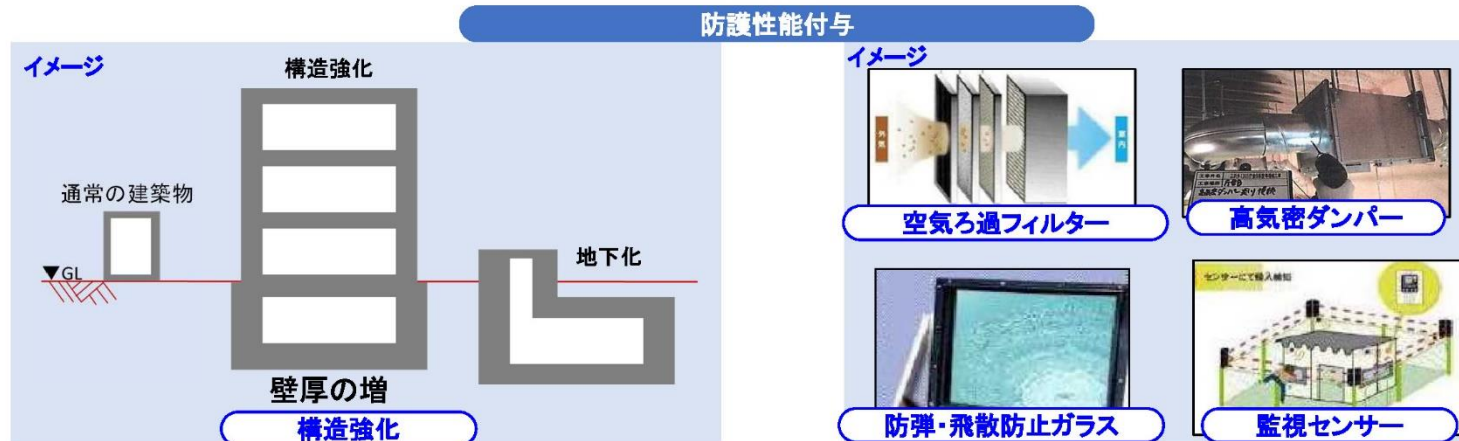
◎最適化事業について（防護性能付与の現状）

■ 老朽施設は、防衛施設が保有すべき防護性能を有していない。

○施設の機能に応じ、必要な防護性能を付与。

（例）・構造強化（壁厚の増）

- ・地下化
- ・空気ろ過システム（フィルター）
- ・高気密ダンパー
- ・飛散防止ガラス
- ・監視センサー など



施設の重要度に応じた防護性能付与により駐屯地全体の強靱化を図る

資料2 自衛隊施設強靱化工事対象施設の一部

3 駐屯地・基地単位における建物規模別の棟数について

参考資料

○北海道防衛局管内 MP作成業務その2 (19地区) ECI方式

機関	駐屯地・基地等	総数	建替 + 改修	建替	規模					改修	規模				
					規模a	規模b	規模c	規模d	規模e		規模a	規模b	規模c	規模d	規模e
信本	東千歳通信所	48	36	16	0	1	1	1	13	20	0	0	6	3	11
陸自	東千歳駐屯地	331	291	207	8	9	19	68	103	84	1	7	15	12	49
陸自	安平駐屯地	52	47	45	0	1	1	2	41	2	0	0	0	0	2
陸自	早来分屯地	28	15	13	0	0	1	2	10	2	0	0	0	0	2
陸自	北千歳駐屯地	110	99	63	0	7	9	20	27	36	2	0	5	4	25
空自	千歳基地	283	248	180	2	7	14	71	86	68	3	3	11	21	30
装備庁	千歳試験場	31	28	2	0	0	1	1	0	26	1	4	6	2	13
陸自	岩見沢駐屯地	45	38	27	1	0	2	10	14	11	1	0	0	2	8
陸自	美唄駐屯地	37	36	27	0	2	4	4	17	9	0	1	1	0	7
陸自	滝川駐屯地	42	32	25	1	1	5	8	10	7	0	2	0	0	5
陸自	上富良野駐屯地	108	92	58	0	8	7	17	26	34	2	1	3	3	25
陸自	多田分屯地	26	24	16	0	0	0	6	10	8	0	0	0	1	7
陸自	沼田分屯地	15	15	6	0	0	0	5	1	9	0	0	1	3	5
陸自	留萌駐屯地	43	37	26	1	1	3	8	13	11	1	0	0	5	5
陸自	旭川駐屯地	155	128	79	1	3	8	27	40	49	1	3	6	3	36
陸自	近文台分屯地	44	36	30	0	0	1	0	29	6	0	0	2	2	2
陸自	名寄駐屯地	70	61	53	4	3	3	19	24	8	1	0	0	2	5
空自	稚内分屯基地	94	81	45	0	2	2	13	28	35	0	1	3	4	28
陸自	礼文分屯地	14	9	6	0	0	1	1	4	3	0	0	1	2	0
その他	その他	189	173	149	0	0	5	21	123	24	0	0	3	3	18
	合計	1,765	1,526	1,073	18	45	87	304	619	453	13	22	63	72	283

※上表の数量は目安であり、実際の数量とは異なる場合がある。
 「その他」は、駐屯地・基地等の周辺に所在する通信所、演習場等の施設の総計を示す。
 枠内の範囲は現時点の発注ロットを示す（現時点の計画であり、今後変更の可能性あり）